

# 秋田市地球温暖化対策実行計画

～ゼロカーボンシティの実現にむけて～



秋 田 市

令和5年3月

## はじめに ～ 秋田市地球温暖化対策実行計画の見直しに当たって



近年、地球温暖化の影響とされる気候変動により、世界各地で大規模な自然災害が頻発しており、我が国においても、豪雨災害や猛暑、気温や海水温の上昇による生態系の変異など、市民の生活や暮らしが脅かされる危機が迫っております。

そのため、2020年10月に菅内閣総理大臣が「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言するとともに、2021年10月に閣議決定された地球温暖化対策計画において、2030年度に温室効果ガスを46%削減（2013年度比）する野心的な目標を立てるなど、国は脱炭素に向けたロードマップを示したところです。

一方、本市においては、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した「秋田市地球温暖化対策実行計画」に沿って地球温暖化対策の推進に努めてきたところですが、「環境立市あきたの確立」を標榜する本市としても、これまで長きにわたり受け継がれてきた本市の豊かな自然と文化を次世代に引き継いでいくために、国の新たな方針と歩調を合わせ、脱炭素社会の実現を目指し地域一丸となって取り組むことが不可欠であると捉え、今般、本計画を見直すことといたしました。

今回の見直しでは、温室効果ガス排出削減目標（2013年度比）を従来の26.8%から50.1%へ大幅に引き上げるとともに、新たに再生可能エネルギーの導入目標を定めました。

そして、その目標の達成に向け、「再生可能エネルギーの普及および利用促進」、「環境負荷を低減するライフスタイル・ワークスタイルの確立」、「温室効果ガス排出量の削減等に資する地域環境の整備」および「循環型社会の構築」の4つの基本方針のもと、実効性のある取組を着実に推進してまいります。

本市では、令和5年秋田市議会2月定例会において、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言したところですが、本計画はこのゼロカーボン実現への具体的な取組を示すものでもあることから、市民・事業者と協働のもと、2050年に向け、取組をより一層強化してまいりたいと考えております。

結びに、本計画の見直しに当たり、ご審議いただきました秋田市地球温暖化実行計画策定等協議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民・事業者の皆様にご心からお礼申し上げます。

令和5年3月

秋田市長 穂積 志

# 秋田市地球温暖化対策実行計画 目次

## 第1章 計画の策定

1 計画策定の背景	2
2 計画策定の目的	16
3 計画の位置付け	17
4 対象とする温室効果ガス	19
5 計画期間および基準年度	19
6 計画の対象範囲	20

## 第2章 温室効果ガスの排出状況

1 温室効果ガスの排出状況	22
2 国および県との比較	24

## 第3章 温室効果ガスの削減目標

1 目標年度	26
2 温室効果ガス排出量の将来予測	26
3 対策効果	28
4 目標設定	29
5 その他の目標設定	30

## 第4章 地球温暖化対策の体系

1 緩和策と適応策	34
2 取組の考え方	35

## 第5章 緩和策

1 基本方針	38
2 基本方針ごとの目標	38
3 対策と施策	39

## 第6章 適応策

1 気候の将来予測	50
2 予測される影響	53
3 基本方針	54
4 施策	55

## 第7章 計画の推進

1	計画の推進体制	58
2	計画の進行管理	60

## 資料編

1	計画見直しの体制	62
2	計画見直しの経緯	64
3	過去の温室効果ガス削減目標および基準年度	65
4	秋田市環境基本条例	66
5	用語解説	73
6	秋田市役所環境配慮行動計画	83
7	秋田市ゼロカーボンシティ宣言	99